

個人情報保護法対策に

ISMS、Pマーク認定取得・更新に

個人情報
データ

機密
データ

業界初
リアルタイム
検出対応

辞書
カスタマイズ
機能搭載

検出結果からの
統計情報作成
機能搭載



個人情報検出/管理システム

検出名人[®]

Ver.1.0

Enterprise Edition

こんなニーズに 検出名人 Enterprise Editionをおすすめします。



検出処理に結構時間がかかるから
チェックするのが嫌になっちゃうんだよね。
もう少し気軽にチェックしたいんだけど…。

POINT 1

業界初!リアルタイム検出

常に最新の状態を把握可能

ファイルが生成/更新/移動/削除された時点で検出処理を実行。これまでのように検出処理をイライラしながら待つ必要がありません。気軽に、検出状況を最新の状態に保つことができます。

POINT 2

統計情報管理を実現

個人情報管理状況の把握・分析が可能

検出結果を各クライアントからサーバへアップロードすることで、検出カテゴリ(人名、住所等)での統計情報を取得することが可能。個人情報データをきめ細かく管理できるようになりました。検出された個人情報ファイルの「状態」を設定(一時的に保存、暗号化済み等)することや、前回アップロードとの差分を取得することもできます。

せっかく検出しても、管理の仕方がよくわかりません。
検出されるデータが多すぎると管理が大変なんですよね。
なんとかうまく管理できませんかね？



ファイルがたくさん検出された時、それらをチェックするのが大変。
ほとんどは、実は特に問題のないファイルなんですよね。
効率よく、本当に問題になりそうなファイルを見つけないか？

POINT 3

複合条件設定にも対応

複数のカテゴリを組み合わせで検出

「住所」+「名前」や「名前」+「メールアドレス」など複数のカテゴリを組み合わせることにより、精度の高い検出が行えます。また「不要なファイルを何度も検出してしまう」ということはありません。特定のフォルダを対象から除外することもできるため、効率のよい検出処理を実現します。

POINT 4

統一した条件で検出可能

システムで一括して条件や辞書を配信

システム側で一括して検出条件や辞書を配信できるため、統一した条件ですべてのクライアントPCをチェックできます。バラバラの設定条件で検出されたことによるトラブルを未然に防ぐことができ安心です。

検出クライアントPC側で条件を勝手に変更されたりするので困っています。なんとかありませんか？



管理者に大きな負担を掛けることなく、容易&確実な
個人情報データ・機密情報データの検出&トータル管理を実現。
個人情報保護、そして各種認証取得・更新のための新しいソリューション

検出名人 Enterprise Edition 誕生。

個人情報データ・機密情報データがPC内のどこに、どの程度存在するのかを
システムを利用することで素早く、そして容易に検出できること。
検出したそのデータを個人/機密情報管理台帳として、
容易に、効率よく管理できること。
検出名人 Enterprise Edition に課せられた命題は、
個人情報保護法時代のニーズに対応するために必要不可欠なものでした。
情報漏洩を防ぎ、経営リスク、法的リスク、金銭的リスクを軽減するために。
そしてセキュリティレベルの向上、情報管理現場の負担軽減のために。
検出名人 Enterprise Editionをぜひご活用ください。



// **すべての方に多くのメリット。
検出名人をビジネスにぜひお役立てください。**

企業のメリット

- ・個人情報保護法対策、ISMS/Pマーク取得のための活動を広く顕在化。
- ・経営リスク・法的リスク・金銭的リスクを大幅に軽減。
- ・個人情報データに関する社員の意識がアップ!

システム管理者のメリット

- ・システムで個人情報データの管理が可能に。
- ・データのチェックが「手作業」ではないので安心。
- ・少ない手間で無理なく確実に運用可能。負担の少ない管理を実現。

ユーザーのメリット

- ・ルールの策定により個人情報データの正しい取り扱いが可能に。
- ・不要なファイルの削除や一元化が容易に。
- ・リアルタイム検出で無理なく個人情報データの検出が可能。

検出名人Enterprise Edition活用のCase Study

Case 01

企業C フロントビル
社員数:約500名

情報漏洩問題を「根本」から解決!

情報システム部門を中心に情報セキュリティへの意識が高く、自主的に毎月1回セキュリティチェックを実施。ウイルス/バグ/ソフトウェア/ネットワーク状況の把握をIT資産管理ツールで実施。



- 個人情報取り扱いルールを策定
- 1 不要なファイルは 削除
 - 2 必要なファイルは 暗号化
 - 3 社内での重複ファイルは 共通サーバーで一斉管理

検出名人Enterprise Editionを各クライアントにインストール
 検出したファイルの条件を設定(サーバー側)

- 条件をクライアントに配布
 「個人情報取り扱いルール」に対して
 1. 削除 2. 暗号化 3. 一斉管理
 サーバに対処状況をアップロード
 管理者が管理ツールで、状況を確認

SECURITY CHECK									
DATE	FILE	TYPE	STATUS	FILE	TYPE	STATUS	FILE	TYPE	STATUS
6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31				

翌月以降は、~ をセキュリティチェックに
 実施し安全な状態を維持している。

導入後の効果

- ・リスクの高いファイルを容易に管理できるようになった。
- ・不要なファイルの削除や一元化等の棚卸しが容易にできた。
- ・従業員の個人情報ファイルに関する意識が高まった。
- ・最新状態を常に把握でき、維持するための運用が楽になった。

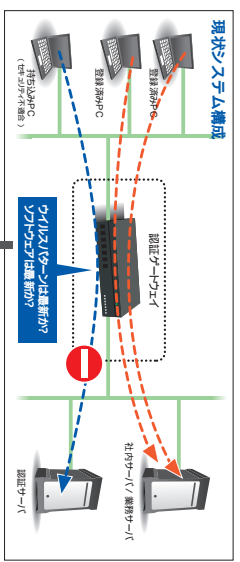
全社的な漏洩リスクが低減した。

Case 02

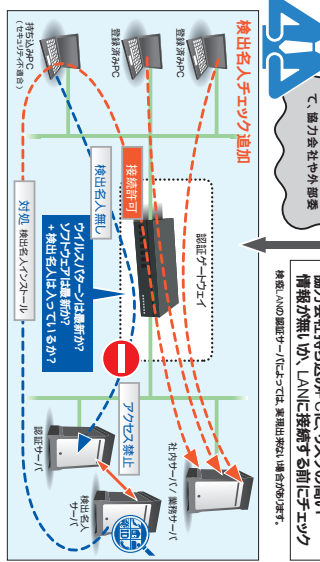
企業B フロントビル
社員数:約200名

持ち込みPCによる情報漏洩をシャットアウト!

顧客システムを委託開発する業務を行うため、様々な協力会社と共同で開発作業を行う事が多い。外部から持ち込んだPCでのセキュリティリスクを懸念するため、検出名人システムを導入している。



「検出名人システム」に
 協力会社持ち込みPCに、リスクの高い
 情報が無い限り、LANに接続する前にセキュリティ
 チェックを行う。接続が許可される場合は、検出名人システムに
 個人情報の漏洩事故
 のリスクを低減させる。



導入後の効果

- ・協力会社持ち込みPCも安心して利用できるようになった。
- ・協力会社スタッフにも個人情報ファイルに関する意識が高まった。
- ・検出名人システムと検出名人を組み合わせてより合理的なシステムを構築できた。

協力会社を含めて漏洩リスクが低減した。

Case 03

企業C フロントビル
社員数:約100名

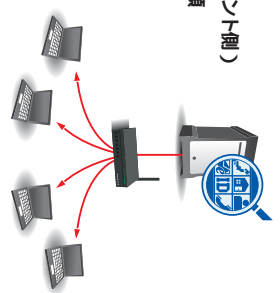
個人情報データの確実な把握・管理を実現!

各種認証(SMS, ブラウザ/ビューワー取得・更新時のPC内の個人情報の把握と対応のための方法を検討中。トキエントと物理的なセキュリティ対策は審査による確認が可能だが、ユーザーPCの個人情報をどのように把握するかが課題。

- ・利用目的が不明、無断で入手したファイルがある
- ・使用者のPCに個人用バックアップとして残ったまま
- ・外部委託先のPCに利用中のファイル、またはバックアップ等が残留されずに保存されていた
- ・バックアップの保管場所を個人のPCにしていた
- ・古いデータや不要なデータが放置されている
- ・破棄または削除したつもりだったが、気づかないところに個人情報が残っていたり各種アプリケーションの一時格納領域(など)

検出名人Enterprise Editionを各クライアントにインストール
 サーバ側で検出したい条件を設定

- 条件をクライアントに配布
 個人情報の検出(クライアント側)
 検出された個人情報を分類
 検出された情報を処理。
 管理ツールに従って対応



導入後の効果

- 監査法人：審査時のPC内個人情報の管理状況チェックが行えるようになった(審査ツールとして)
 被監査法人：認証取得・認証更新時の個人情報の把握・対応が容易になった(監査ツールとして)

各種認証の取得・更新を効率よく行うことが可能になった。

クライアントPC側、サーバ側それぞれに多彩な機能を搭載。 リスクが高い情報の存在や動向を的確に把握できます。



・クライアント画面
各PCにて個人情報データ(住所、氏名、電話番号、メールアドレス等)を高速に検出します。



・管理サーバ画面
個人情報を検出するための辞書(キーワード)や検出条件(閾値)などを設定します。



・管理クライアント画面
検出結果から統計情報を作成したり、前回集計時との差分情報を出力します。

機能一覧

機能		説明
クライアント機能	リアルタイム検出	ファイルが生成/更新/移動/削除されたタイミングで逐次検出を行う
	ファイルを開く/フォルダを開く	検出されたファイルを開く(関連されたアプリケーションが存在しない場合は、アプリケーションを指定する) 検出されたファイルが存在するフォルダを開く
	状態/備考の設定	検出されたファイルの処置状態を設定する(暗号化済み、一時的に保存等)
	検出結果アップロード	検出結果を管理サーバへアップロードする
	履歴表示	過去の検出結果を履歴として退避することができる
	絞り込み表示	検出結果を一定条件(状態、ファイル名、フォルダパス等)で絞り込んで表示する
	グループ設定	自端末が所属するグループを設定する
	除外フォルダ設定	検出対象外にするフォルダを複数設定
管理サーバ機能	ポリシーダウンロード	管理サーバからポリシーを自動的にダウンロードする
	ポリシー作成/編集	ポリシーを新規に作成したり、既存のポリシーを編集できる。また作成したポリシーをテスト用としてダウンロードすることも可能
	検出条件作成/編集	辞書を複数組み合わせることで検出条件を作成できる
管理ツール機能	辞書作成/編集	既存の辞書(人名、住所等)へのキーワード追加、および新規辞書の追加/編集
	クライアント管理	管理しているグループ内のクライアントの名前や管理者を表示
	検出結果抽出	クライアントからアップロードされた検出結果を1ファイル/1クライアントとして出力
	前回結果との差分抽出	前回アップロード時の結果からの変更点(増えたファイル)を抽出
	統計情報の作成	各種統計処理結果(検出条件別統計、対処履歴情報等)の出力

検出対象ファイル形式

除外拡張子として登録されているファイルは、検出対象から除外されます。対象ファイル形式は将来、変更(追加/削除)される可能性があります。

Microsoft	MS-Office Word 95-2003 / MS-Office Excel 95-2003 MS-Office PowerPoint 95-2003(パスワード付きのものは除く)	アーカイブ	Lha / zip / tar (自己解凍形式、パスワード付きのものは除く)
IBM	Lotus 1-2-3 / Lotus Freelance / Lotus WordPro	メールファイル	EMLファイルとその添付ファイル 添付ファイル形式: base64 / quoted-printable / binhex
富士通	OASYS V7-2002		mbox形式のファイルはメールの本文部分だけとなり、添付ファイルは検出対象になりません。
Justsystem	一太郎 V5-2005	バイナリデータファイル	上記以外のファイルに関してはバイナリデータで検出します。ただし内部漢字コードがテキストコード(JIS / SJIS / EUC / utf-8 / UCS2)でなければなりません。
文書ファイル	RTF, PDF(パスワード付きのものは除く)		
テキストファイル	JIS / SJIS / EUC / utf-8 / UCS2 / HTML / XML		

動作環境

[サーバ]	[クライアント]	[管理クライアント]
CPU: EM64Tサポート必須 OS: Microsoft® Windows® Server 2003 R2 x64 Edition メモリ: 1GB以上(推奨) HDD: 10GB以上(推奨) 必須ソフト: Microsoft® SQL Server 2005 Standard Edition(64-bit)	OS: Microsoft® Windows® XP Home Edition(SP2) Microsoft® Windows® XP Professional Edition(SP2) Microsoft® Windows® 2000 Professional(SP4) メモリ: 512MB以上(推奨) HDD: 10MB以上(別途作業用の領域が必要)	[必須ライセンス]

個人情報検出 / 管理システム

 Ver.1.0 Enterprise Edition
 型番:A2092215

SafetyRing Safety Ringについて
 本製品は、富士通株式会社の安心安全ソリューション「Safety Ring/SC」(セーフティリング: セキュリティソリューション)に位置づけられており、お客様の総合的な安心、安全対策を支援します。

「検出名人」は株式会社富士通の登録商標です。 Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国および、その他の国における登録商標です。 その他、記載の商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。 改良の為、仕様・価格等は予告なく変更することがあります。 本製品はすべての個人情報検出を保証するものではありません。

製品価格

ライセンス数	価格(税込)
1	10,500 円
5	42,000 円
10	63,000 円
50	309,750 円
100	493,500 円
500	1,837,500 円
1,000	3,150,000 円

サポート価格

ライセンス数	価格(税込)
1	6,300 円
5	25,200 円
10	31,500 円
50	154,875 円
100	222,075 円
500	826,875 円
1,000	1,417,500 円

初年度のサポート費を含みます。

次年度以降に必要です。 サポート内容:E-mailでのQ&A/アップデート版の提供/更新辞書の提供を致します。

1,000を超えるライセンスにつきましては個別に対応させていただきます。